

臨時教授会議事要録

日 時 平成18年5月10日(水) 13時30分～15時40分
場 所 会議室
出席者 井小萩所長(議長)ほか25名
欠席者 1名

◎ 議事に先立ち、議長から、5月1日付けで着任した大竹講師の紹介があり、同人から挨拶があった。

I 前回議事要録の確認

議長から、定例教授会(平成18年4月12日開催)議事要録は電子メールにより確認済みであり、これをホームページに掲載することについて諮り、承認した。

II 報告事項

1 学内諸会議

(1) 部局長連絡会議(4月18日)

議長から、次の事項について概要報告があった。

- 1) 第三期科学技術基本計画について
- 2) 教員の活動状況調査について
- 3) 昇給制度を視野に入れた評価について
- 4) 研究不正の対応に係る体制整備について
- 5) 「若手研究者萌芽研究育成プログラム」研究成果発表会について

ほか

(2) 教育研究評議会(4月14日)

圓山評議員から、次の事項について概要報告があった。

- 1) 平成18年度の運営体制について
- 2) 総長選考会議委員の選出について

ほか

(3) 機械知能系教務委員会(4月13日、5月9日)

小林教授から、次の事項について概要報告があった。

- 1) 選択した科目により学部6セメバリア未通過の恐れのある学生への注意喚起について
- 2) 学部研修Iについて、分野により学生数に偏りが大きいこと
- 3) 大学院後期課程進学への筆記試験免除関連事項

(4) 学生生活協議会学寮専門委員会（4月3日）

大林教授から、大学が学生に対し起こしていた旧「有朋寮」の建物明渡等を求める民事訴訟について、仙台高裁での控訴審で判決言渡が行われ、第1審判決と同じく学生らに対して建物を明け渡すよう命じた旨報告があった。

(5) 学生生活協議会（4月3日）外8件の諸会議（席上回覧）

開催報告については、報告メモを席上回覧した。

2 所内会議

(1) 運営会議（5月9日）

議長から、本日の議題について審議したことについて報告があった。

(2) 安全衛生委員会及び巡視

橋本用度係長から、次のとおり報告があった。

- 1) 事故発生時の大学病院の救急外来の連絡先（717-7499）について
- 2) 安全衛生講習会の開催予告について

3 平成19年度概算要求の総長ヒアリングについて

議長から、4月26日（水）に実施された総長ヒアリングの概要について、次のとおり報告があった。

- 1) 平成19年度概算要求事項について
- 2) 平成19年度施設整備概算要求事項について

4 平成18年度所内・学内各種委員会委員について

議長から、配付資料に基づき、前回報告後の変更について報告があった。

5 平成18年度科学研究費補助金の交付内定について

議長から、配付資料に基づき報告があり、次いで圓山教授（外部資金担当）から、来年度の同補助金の採択へ向けて協力依頼があった。

6 平成18年度研究室・実験室部屋割りの変更について

議長から、配付資料に基づき、旧竹内教授室を当面所長預りにし、旧南部教授室を当面男子休憩室にすること。また、1号館105-2を第1共同計測室にし、

2号館206を第2共同計測室とするので、希望があれば計測の内容及び使用期間を、用度係長へ申請願いたい旨報告があった。

7 平成18年度予算執行について

小林事務長から、今年度予算の執行については、予算配分があるまでは前年度比8割で執行していただきたいとの報告と協力依頼があった。

また、納品されたものの支払いを、当該年度予算で行うことについて、改めて協力依頼があった。

8 東北大学薬品管理システムの導入について

小林事務長から、配付資料に基づき報告と協力依頼があった。

9 衝撃波関連施設共同利用委員会の検討経過について

小濱教授（衝撃波関連施設共同利用委員会委員長）から、配付資料に基づき報告があった。

次いで、高木教授からの発言を受け、議長から、流体科学研究所衝撃波関連施設使用内規案第6条の係員を、技術職員と修正する旨付言があった。

10 流体研兼務教員のスパコンシステム利用について

小原教授（創造センター研究開発室長）から、配付資料に基づき報告があり、次いで議長から、特に若手の先生方に対し、積極的な利用申請について依頼があった。

11 工場利用状況について

大沼技術室長から、配付資料に基づき報告があり、併せてこれまで工場を利用したことがない教員へ利用を依頼した。

12 その他

(1) 教員の長期外国出張について

議長から、配付資料に基づき、太田助教授の長期外国出張について報告があった。

次いで高木教授（国際交流担当）から、渡航先・機関名について、東北大学として、ECL若しくは国立中央理工科学学校と統一している旨付言があった。

(2) 企画推進室（研究評価担当）

太田助教授から、文部科学省研究活動報告書及び流体研研究活動報告書について報告と協力依頼があった。

(3) 企画推進室（広報担当）

石本助教授から、流体研パンフレットの作成及び1号館玄関の年表・受賞一覧パネルの更新状況について報告があり、さらに研究成果がマスコミ等に取り上げられた際は、流体研HPに掲載するため、速やかに連絡をもらえるよう依頼があった。

(4) 企画推進室（編集担当）

大平教授（前年度編集担当）から、RIFSの発行について報告及び協力に対する謝辞があった。

次いで、徳山教授から、RIFSへ掲載する原稿の範囲について提案があり、議長から、次回以降の教授会において、企画推進室から提出された原案を、審議する旨付言があった。

(5) 技術室運営委員会について

大沼技術室長から、4月24日（月）に開催された第1回技術室運営委員会について、概要報告があった。

(6) AFI-2006について

議長から、開催日及び開催地案について報告があった。

(7) 流体研の見学について

石本助教授（見学担当）から、仙台市を通じて依頼のあった、本日のフィンランド・タンペレ工科大学関係者の研究室の見学について、協力依頼があった。

(8) 研究所連携プロジェクト第1期成果報告会について

大平教授から、5月12日（金）に開催される同報告会について、報告及び出席依頼があった。

(9) その他

① 事務長から、平成17年度の決算について報告があり、次いで、議長から、各自が申請し、採択された経費については、計画に基づき、責任をもって執行していただきたい旨付言があった。

② 藤代教授（TFI-2006実行委員長）から、参加申込みの依頼があった。また、併せて6月13日（火）の流体研見学に際しての協力依頼があった。

Ⅲ 審 議 事 項

1 極限流研究部門（極低温流研究分野）助手の公募について

議長から、運営会議の議を経て、標記研究分野助手の公募について、配付資料に基づき提案、説明の後、審議の結果、配付資料を一部修正の上、これを承認した。

2 助教授・講師の指導教員認定について

議長から、提案があり、配布資料に基づき、助教授2名の履歴及び業績等について説明の後、これを了承した。

なお、今後認定を希望する場合は、略歴書、研究業績、業績リスト、推薦文及び回覧用の業績ファイルを所長へ提出し、研究戦略構想委員会で審議し、運営会議でその内容をさらに審議した上で、教授会へ報告することとした。

また、業績リストの書式は、流体研の様式を採用することとした。

3 国際学術交流協定の担当教員の変更等について

議長から、提案の後、高木教授（国際交流担当）から、配付資料に基づき、部局間交流協定の担当教員が兼務教員のみであった、イギリス・クランフィールド工科大学及びマンチェスター工科大学機械、航空、製造工学部の担当教員に大林教授を加えること。

また、更新手順の流れ図に基づき、部局間学術交流協定を、順次5年毎見直す文言を盛り込むことを提案・説明の後、審議の結果、配付資料を一部訂正の上了承した。

4 兼担及び兼務教員の委嘱について

議長から、配付資料に基づき提案、説明の後、審議の結果、マイクロ熱流動研究部門応用システム研究分野の兼担を寒川教授とすること。

また、流体融合研究センター基幹研究部実事象融合計算研究分野の兼務教員を環境科学研究科・環境科学専攻の高橋弘教授に依頼することを承認した。

IV そ の 他

1 次回教授会開催日について

定例教授会：平成18年7月5日（水）午後1時30分から

以上